



第45号（平成23年9月発行）
東海ノア協定事務局
（原子力機構・原子力科学研究所内）
Telephone：029-282-5801
E-mail：t-noah@jaea.go.jp

東海ノア通信 第45号 をお届けします。

東海ノアでは、今年度も加盟事業所の皆様方との相互協力をもとに、積極的に協力活動を進めていきたいと考えています。東海ノア通信では、こうした日頃の協力活動をよりわかりやすく皆さまに紹介しています。

なお、東海ノア協定に基づく活動状況は、ホームページでも紹介しています。

アドレスは、<http://tnoah.jaea.go.jp/> です。

〔トピックス〕

☆活動状況

- ・ 活動推進幹事会の開催状況
- ・ 自主保安に関する協力活動
- ・ 安全教育に関する協力活動

☆加盟事業所からの事業所紹介

☆委員等の変更

☆今後の活動予定

東海 NOAH：

「東海」東海村、「N」那珂市、「O」大洗町、「A」旭村（現銚田市）、「H」ひたちなか市

☆活動状況

活動推進幹事会の開催状況

○第56回活動推進幹事会

開催日：平成23年 9月 5日（月）

開催場所：原子力研究開発機構 東海研究開発センター
原子力科学研究所 情報交流棟3階TV会議室

議題：

- （１）第55回活動推進幹事会議事録について
- （２）原子力事業所安全協力協定役員一覧等について
- （３）第1回自主保安点検協力活動報告書について
- （４）加盟事業所における自衛消防隊の現状について
- （５）東海ノア通信第45号の発行について
- （６）第25回安全協力委員会について
- （７）その他



自主保安に関する協力活動

協定に加盟している事業所を対象に、核燃料物質使用施設、放射性物質取扱施設等の安全担当実務者及び防火管理の担当実務者からなる専門家を派遣し、安全管理について様々な観点から確認、意見交換を行い、安全管理の向上に役立てるための活動を行っております。

○平成23年度第1回自主保安点検協力活動

今年度第1回目の活動は、7月29日（金）に、「日揮株式会社 技術研究所」を対象として実施されました。

点検協力実施者は、三菱原子燃料株式会社 環境安全部安全管理課 小川 洋樹氏、三菱マテリアル株式会社 エネルギー事業センター那珂エネルギー開発研究所安全管理グループ 川村 昭良氏、日本核燃料開発株式会社 保安管理部長附 吉田 好雄氏の3名でした。

活動内容は、現場巡視確認及び点検シートに基づいた質疑・応答で進められました。

対象事業所では、安全維持活動として社の安全指針に基づき、研究所の各種安全基準を制定している。また、安全基準を確実に運用するため、所長を委員長とする安全衛生委員会で具体的な活動の決定、作業の安全性に関する妥当性を審議する等、安全システムを構築している。

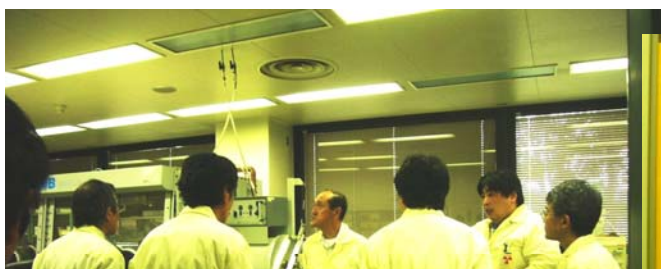
点検協力実施者からは、実験室入口に掲示されたGHS表示や一般安全に関する定期点検記録の掲示等、現場でのリスク管理に対する見える化が図られ、注意喚起や意識の高揚等、安全管理に有効との感想や大型フード内作業時の保護具の着用や安全確認の徹底等についての意見交換がありました。



安全管理の運用システム等について意見交換する点検協力実施者(左側)と事業所対応者(右側)



実験室入口に掲示されたGHS表示



安全教育に関する協力活動

○原子力機構東海研究開発センターでの安全講演会

原子力機構東海研究開発センターにおける全国安全週間行事の一環として、安全意識の高揚を図ることを目的とし、所外の専門家による安全講演会が各研究所において開催されました。

1). 核燃料サイクル工学研究所

7月4日(月)に、慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 高野研一 教授を講師にお招きし、「コミュニケーションから築く安全文化」と題する講演会がアトムワールド講堂において開催され、167名の方々が聴講されました。また、講演会には、東海ノア

協定事業所から、2事業所3名の方々が参加されました。

講演会では、最近の我が国の組織事故から見た安全文化、なぜ安全文化が必要なのか、そして、安全文化を築くためにはコミュニケーションが重要であることなど、具体的な事例等を織り交ぜたご講演をいただきました。

〔講演される高野先生〕



〔聴講風景〕

2). 原子力科学研究所

7月26日(月)、原子力科学研究所・大講堂において、中央労働災害防止協会 マネージメントシステム審査センター所長 白崎彰久氏による「効果的に進めるリスクアセスメント 復旧時も含めて」と題する講演会が開催されました。講演会は、195名の方々が聴講され、東海ノア協定事業所からも1名の方が参加されました。

講演会では、「リスクアセスメントの方法は職場の特性に合うように改良することが成功のポイント」、「リスク低減対策は人の行動に委ねないことがたて方のポイント」などの講演の他、某研究所のリスクマネージメントシートに基づく実践例やマネージメントシステムによる効果事例の紹介など、震災復旧に向けての取組にも参考となる貴重な事例等を織り交ぜたご講演をいただきました。

講演される白崎先生と聴講風景



た。

☆協定加盟事業所からの事業所紹介

東海ノア通信では、協力協定加盟事業所間の相互理解を図ることを目的に、安全活動への取組状況等について各事業所からの紹介記事を掲載しています。今号では、日本核燃料開発株式会社からの紹介です。

— ∞ — ∞ — ∞ — ∞ — ∞ — ∞ — ∞ — ∞ — ∞ — ∞ — ∞ — ∞ — ∞ — ∞ — ∞ — ∞ — ∞ —

『当社の安全活動状況等について』

日本核燃料開発株式会社（略称NFD）

当社は、核燃料の研究開発を行う会社として、株式会社東芝と株式会社日立製作所の共同出資により、昭和47年に設立されました。原子力発電所で使用した燃料集合体を取り扱う照射後試験施設（ホットラボ）、高性能な新型燃料を開発するための燃料研究棟（ウランラボ）及び一般の金属材料を取り扱う材料研究棟があります。それぞれの施設には各種高性能の試験装置、測定器、分析機器等の設備があり、当社独自の高い技術力を活かして、原子力発電所の安全性評価、信頼性や経済性の向上に必要な研究開発を推進しております。

当社は、安全確保を最優先とした基本理念の下、①社長としての方針を提示し、情報の共有化を図る、②体系的な安全確保の仕組みを作る、③その仕組みを実効的に運用する、の3点を具体化のための方策として掲げ、安全意識の維持・向上に向けた活動を展開しております。

本号では安全活動状況等の一端をご紹介します。

1. 当社の安全管理推進体制

当社では、安全管理にかかわる会議体の最上位に半年毎に開催される、社長、取締役及び各部長他の出席による「安全会議」があり、年度計画の審議・決定と安全活動状況のフォローアップを実施しています。

また、「安全会議」の下には「安全衛生委員会」と「放射線安全委員会」の2つの常設委員会を設け、「安全衛生委員会」では日常の一般安全衛生活動について、「放射線安全委員会」では放射線安全等にかかわる事項を取り上げ、審議しております。なお、毎月行う職場安全巡視では、安全衛生委員会メンバーによる巡視、テーマに応じた役員、産業医等による巡視など、種々の視点から巡視を行っています。

衛生面では、毎年、健康管理に関する講演会を開催し、従業員の健康管理意識の向上を目指しています。

2. 「NFD行動規範」の制定と従業員への周知

企業倫理に関する取組みを強化するため、当社では、平成16年2月に「安全理念」、「経営理念」を具体化した「NFD行動規範」を制定しました。この「NFD行動規範」では、社会との関わり、法令遵守・社会正義、品質保証活動にわたる当社の企業姿勢、従業員のあるべき姿を示しています。平成22年3月には改訂版を発行し、全従業員にハンドブックとして配布しました。

また、全従業員参加の集会の機会をとらえ、社長訓示を通してコンプライアンスや安全最優先の意識付けの徹底を図っております。



NFD行動規範（改訂版）



安全集会での全従業員への社長訓示

3. 安全管理にかかわる全規程類のネットワーク上への掲載

諸手続きや業務手順等を明確にするため、当社では、「文書管理規程」に基づいて社内規程類及び手順書等を整備しております。また、様式類に文書改訂番号を記載するなど、常に最新かつ使用目的に応じた帳票類が区分できる取り組みを進めております。また、情報管理を必要とする場合を除き、安全にかかわる全規程類を電子掲示板に掲載し、速やかに規定類が確認できるようにしております。

4. 保安教育について

施設における業務遂行上の核燃料やR1の取扱い、管理方法などの重要事項は保安教育として、毎年1回、全従業員に教育しています。教育資料は、法令等の要求事項の他、最近の社内外の事例、関連する機器（たとえば、火災報知器）の動作原理等まで広くカバーしたものです。当社の「教育資料作成チェックリスト」による事前チェックと教育実施後の受講者アンケートによる次年度への改善を行うことにより、受講者にとって理解しやすく、施設の現状に合った教育資料となるよう心がけています。

5. 地域共生活動について

大洗町で行われる交通安全町民パレード、八朔祭、商工感謝祭などに参加すると共

に、海水浴シーズン開始前には恒例の海岸清掃、海開き安全祈願祭に参加しております。

これからも安全最優先で事業活動に取り組んでまいりますので、関係各機関並びに地域の方々のご理解ご協力をお願いいたします。

以上



大洗町八朔祭に参加

☆委員等の変更〔平成23年7月1日付け〕

原子力事業所安全協力委員会

	(新)	(旧)
委員長	市村 敏夫 日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター 原子力科学研究所長	上塚 寛 同 左
副委員長	上塚 寛 日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター 核燃料サイクル工学研究所長	市村 敏夫 同 左

緊急事態協力活動本部

	(新)	(旧)
本部長	市村 敏夫 日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター 原子力科学研究所長	上塚 寛 同 左

活動推進幹事会

	(新)	(旧)
副幹事長	青木 義一 日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター 核燃料サイクル工学研究 保安全管理部長	林 直実 同 左

☆今後の活動予定

- ・平成23年度第1回安全教育研修…………… 9月
- ・第25回安全協力委員会…………… 10月
- ・平成23年度第2回自主保安点検協力活動…………… 11月
- ・第57回活動推進幹事会…………… 12月

〔編集後記〕

東海ノアの活動につきましては、日頃より加盟事業所皆様のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

事務局では、7月1日より河野の後任として制野が着任し、業務を担当しております。今後とも引き続きのご支援、ご協力を、宜しくお願いいたします。

今夏は、3月11日に発生しました未曾有の大地震により、例年とは様変わりした夏を過ごされた方々も多くいらっしゃるかと思います。

電気の需給については、電力使用制限令の発動による企業の操業停止・縮小や輪番操業、社会インフラ（電車など）の運用停止、制限、そして一般家庭などでの節電などが効を奏し、現在のところ深刻な事態には至らず、今夏の全体像がおぼろげながら見えてきた感じですが、やっぱり節電は引き続き大事！ということになるのでしょうか。とはいえ、今日のように経済活動や社会インフラを半分麻痺させた様な状態で日々を過ごすわけにもいかないですから、できる節電をやりながら、東京電力の供給が増えることを期待する、ということになるのだと思います。

東海ノア通信の目的である「情報の交換・共有化」を行いながら、皆様の参考となるように趣向を凝らして行きたいと考えています。事務局へのご要望等がございましたら、忌憚のないご意見をお寄せください。

